

東街区整備に独自案

三島駅南口 検討会でNPO提示

三島市のJR三島駅南口東街区の整備を考える市民検討会が十六日夜、同市一番町の三島市民文化会館であった。

東街区を巡っては、三島市が再開発事業を計画し、事業協力者の提案を審査している。市民検討会は東街区の

などのイベント情報を事前に求めているなどが分かったという。

協議会は今後、観光資源の掘り起こしやツアーの企画、船会社やランドオペレーターへの情報発信に取り組む。(佐久間博康)



「しずおか伊豆・文化の森セントラルパーク構想」を示す渡辺豊博さん＝三島市一番町で

再開発事業に市民の声を届けようと、地元NPO法人「グラウンドワーク(GW)三島」が主催し、二十五人が参加した。

講師の渡辺豊博専務理事(左)は独自の計画案として「しずおか伊豆・文化の森セントラルパーク構想」を提示した。同構想には劇場や富士山伊豆地域世界遺産ビジターセンター、レストランが同居する文化施設棟、駐車

場棟、住居・商業施設棟、溶岩やわき水を染しめる広場を盛り込んだ。市が想定する高層マンションは入っていない。

渡辺さんは「伊豆の玄関口にふさわしい拠点を県や近隣市町と話し合って計画をつくりたい。三島全体で回遊性を高める施設にできれば」と語った。

GW三島は今後、市が選んだ事業協力者と同構想を提案する方針。

検討会は十八日午後二時から、三島市南本町の市社会福祉会館でも行われる。申し込み不要、参加無料。(GW三島)055(983)0136

(佐久間博康)